

タブレット導入で授業はどう変わる？

◎いよいよ始まる「GIGA スクール構想」

「GIGA スクール構想」とは、Society 5.0 時代（AI やロボットの力を借りて、快適に活力に満ちた生活を送ることができる社会）を生きる子どもたちに相応しい、1人1人の個性を大切に、創造性を育む学びを実現するため、「1人1台端末」と学校における高速ネットワークを整備する国の政策のことです。

現在、GIGA スクール構想により1人1台タブレット端末の導入が日本全国で急ピッチに行われています。では、1人1台タブレット端末が導入されることで、学校の授業はどのように変わっていくのでしょうか。

個に応じた課題

個に応じた重点的な指導、教材の柔軟な提供・設定

文章の推敲

適した表現方法の工夫
文章作成の簡略化

調べもの

情報の収集、整理・分析、
まとめ、表現

共有・学び合い

児童の考えや伝えたいこと、
作成資料の共有・対話

幅広い表現方法

プレゼン作成、写真・動画
の編集



ICTの活用によって、これまでの授業により広がりや深まりが生まれたり、子どもの創造性や探求意欲を育んだりすることができます。

(各教科等の指導における ICT の効果的な活用について)「文部科学省」⇒



なぜクラウドサービスでの**実名登録**が必要なの？



クラウドサービス（ロイロノート・スクール、Google workspace for education等）は主に授業で使用します。 普段の学習に合わせて、考えやノートを共有したり、共同で資料を制作したりします。

実名登録がない場合



だれの
考えだろう？

- ・児童の考えを共有する際、匿名だとわからない。
- ・委員会活動やクラブ活動など、学年・クラスの枠を超えて活用する際に名前がわからない。

実名登録することで、クラウド上でも自分の発言に責任をもち、**情報モラルの育成**にもつながるね。



授業で、効果的に活用していくためにも実名登録が必要となります。ご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



臨時休校になった際は、クラウドサービスを使って健康観察や課題配布、自宅学習等を行う可能性もあります。

※その際、ご家庭にWi-Fi環境がない場合はご相談ください。

※クラウドサービスの活用が難しい場合には、これまで同様電話や連絡帳での連絡調整を行います。

※ロイロノート・スクールやGoogle workspace for education等クラウドサービスの利用で得られた個人情報は、教育目的（主に授業）にのみ活用いたします。